

第5回 出雲圏域 県管理河川に関する減災対策協議会

議事概要

1. 日時：令和3年7月1日（木）15:00～16:30
2. 場所：出雲市役所 3階 庁議室
3. 議事
 - (1) 取り組み方針改正について
 - (2) 「第4回 減災対策協議会（フォローアップ等）」について
 - (3) タイムライン改正（案）について
4. 議事結果
 - ・令和2年度の実施状況および令和3年度の実施予定について、協議会に諮り、協議会委員の了解を頂いた。
 - ・タイムラインの見直しについて、協議会に諮り、審議のうえ、議会委員の了解を頂いた。
5. 意見交換
 - 広報、出前講座等を継続実施の取組（避難所用資材：ワンタッチパーテーション）
 - (気象台)
大変有効な取組と考えるが、どの程度の数を保有されているのか。
 - (出雲市)
225セットを旧出雲市体育館に保管（大きさは2m×2m程度）。
 - (出雲河川)
ビジネスホテルと協定を結び、避難所として活用すると聞いたが記載はないのか。
 - (出雲市)
記載していないが、ホテル連絡協議会と協定を結び取組として行っている。
 - タイムライン改正（案）について
 - (出雲河川)
土砂災害警戒情報を削除した理由は何故か。ホットラインは実施しないのか。
 - (河川課)
タイムラインについては水害に着目しており、土砂災害に関する警戒レベルと河川水位に関する警戒レベルが必ずしも一致しないので、この度削除した。なお、ホットラインについて、気象台は継続的に行う。

(気象台)

今回のタイムラインは水位を軸として作成している。

(出雲市)

2年前の協議会において、斐伊川タイムライン同様多機関連携タイムラインの作成検討を要望し、当面の運用後に検討するとの事だったが、検討は進んでいないのか。

(河川課)

現行のタイムラインによる熟度を上げることを優先したいが、要望を踏まえ今後担当者間で検討を進めたい。

(出雲河川)

例えば、国が行っている斐伊川タイムライン担当者会議に神戸川の内容を入れるなど取り組んでいけば良いと考えるがどうか。

(河川課)

関係機関と調整しながら、市の要望に対してどのように取り組めるか検討する。

●気象台の新たな取組について

(出雲河川)

出雲河川も懇談会に参加することとしているが、県も参加する予定はあるのか。

(気象台)

今後検討していきたい。

●土砂災害予警報システムについて

(出雲河川)

新しいシステムは（住民通知を行う）プッシュ型なのか。

(河川課)

システム自体はプッシュ型ではないが、県の防災メール登録者へは通知がある。

●今後のスケジュールについて

(出雲河川)

行政側から出せる情報は増えている。次のステージとして、これをどう活用し、どう届け、どう効果的に避難に結びつけることができるかが重要と考える。

出雲市において、例えばどこかのフィールドで実験的に関係機関と連携したモデル的な取組を行うことを提案したい。出雲モデルとして立ち上がれば素晴らしい。

(出雲市)

今後、どのような取組ができるか関係機関と連携して検討したい。

河川課も含めて、協議会の担当者で今後検討を行う。

●出雲市より要望

(出雲市)

- 1) 神戸川において河川整備計画が作られていない区間があるが、今後計画を作成して整備を促進してほしい。
- 2) 神戸川全区間について、早期の水位周知河川としての指定をお願いしたい。さらには、洪水予報河川への指定も検討してほしい。

(河川課) 持ち帰って検討する。

以上